

アンリ・ルフェーヴルの邦訳著作リスト [暫定版]

ルフェーヴルの邦訳書（日本での刊行年順）

- ルフェーヴル、アンリ、1952、『マルクス主義』文庫クセジュ。
- ———、1953、『弁証法的唯物論』（本田喜代治・訳）新評論社。
- ———、1953、『デカルト』（服部英次郎、青木靖三・訳）、岩波書店。
- ———、1954、『パスカル』（川俣晃自・訳）新評論社。
- ———、1955、『美学入門』（多田道太郎・訳）理論社。
- ———、1958、『マルクス主義の現実的諸問題』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1959、『総和と余剰 第1部（哲学者の危機）』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1960、『総和と余剰 第2部（歴史の証人）』（白井健三郎・訳）現代思潮社。
- ———、1960、『カール・マルクス——その思想形成史』（吉田静一・訳）ミネルヴァ書房。
- ———、1961、『総和と余剰 第3部（哲学の契機）』（白井健三郎・訳）現代思潮社。
- ———、1961、『総和と余剰 第5部（疎外と人間）』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1961、『総和と余剰 第6部（マルクス主義者とは何か？）』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1962、『総和と余剰 第4部（わが思想の歩み）』（中村雄二郎・訳）現代思潮社。
- ———、1963、『レーニン——生涯と思想』（大崎平八郎・訳）ミネルヴァ書房。
- ———、1967、『パリ・コミューン（上）』（河野健二、柴田朝子・訳）岩波書店。

- ———、1968、『パリ・コムューン（下）』（河野健二、柴田朝子・訳）岩波書店。
- ———、1968、『日常生活批判序説』（田中仁彦・訳）現代思潮社。
- ———、1968、『マルクス主義（改訂新版）』（竹内良知・訳）クセジユ文庫，白水社。
- ———、1968、『美学入門 新装版』（多田道太郎・訳）理論社。
- ———、1969、『都市への権利』（森本和夫・訳）筑摩書房。
- ———、1969、『「五月革命」論』（森本和夫・訳）筑摩書房。
- ———、1969、『日常生活批判（1）』（松原雅典、奥山秀美・訳）現代思潮社。
- ———、1970、『日常生活批判（2）』（松原雅典、奥山秀美・訳）現代思潮社。
- ———、1970、『マルクスの社会学』（山下淳志郎・訳）せりか書房。
- ———、1970、『ひとつの立場』（白井健三郎・訳）紀伊國屋書店。
- ———、1970、『現代世界における日常生活』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1971、『言語と社会』（広田昌義・訳）せりか書房。
- ———、1972、『現代への序説（上）』（宗左近、古田幸男・監訳）法政大学出版局。
- ———、1973、『現代への序説（下）』（宗左近、古田幸男・監訳）法政大学出版局。
- ———、1974、『都市革命』（今井成美・訳）晶文社。
- ———、1975、『マルクス主義の現実的諸問題 新装版』（森本和夫・訳）現代思潮社。
- ———、1975、『形式論理学と弁証法論理学』（中村秀吉、荒川幾男・訳）合同出版。
- ———、1975、『空間と政治』（今井成美・訳）晶文社。
- ———、1976、『革命的ロマン主義』（西川長夫、小西嘉幸・訳）福村出版。

- ———、1977、『構造主義をこえて』（西川長夫、中原新吾・訳）福村出版。
- ———、1979、『太陽と十字架—ピレネー山脈』（松原雅典・訳）未来社。
- ———、2000、『空間の生産』（斉藤日出治・訳）青木書店。
- ———、2008、『マルクス主義の現実的諸問題（オンデマンド版）』（森本和夫・訳）現代思潮新社。
- ———、2011、『都市への権利』（森本和夫・訳）ちくま学芸文庫。
- ———、2011、『パリ・コミューン（上・下）』（河野健二、柴田朝子、西川長夫・訳）岩波文庫。

ルフェーヴルの邦訳論考、国内雑誌掲載の記事、来日インタビュー等

- ルフェーヴル、アンリ、「革命的人間——新しきヒウマニズム—2— ジュネーヴ討論会報告」（笹本駿二・訳）『世界』1951年2月号（62）：149-155頁。
- ———、1957、「マルクス主義とマルクス主義者のために」（訳者不詳）『中央公論』1957年11月号、72（13）：182-204頁。
- ———、1957、「「あいまいさ」の哲学」ロジェ・ガロディほか『反マルクス主義批判』（根岸良一、多田正行・訳）パトリア、129-138頁。
- ———、1958、「マルクス主義者として」（杉捷夫・訳）『世界』1958年9月号（153）：174-178頁。
- ———、1967、「[抄訳]日常生活批判」（中村雄二郎・訳）竹内良知・編『疎外される人間（現代人の思想9）』平凡社、132-174頁。
- ———、1968、「現代フランス社会を定義する」（海原峻・訳）『現代の眼』9（4）：38-45頁。
- ———、1968、「共産主義者知識人の宿命」（海老坂武・訳）『現代の眼』9（4）：88-101頁。
- ———、1968、「疎外概念」（大野桂一郎・訳）『思想』1968年4月号（526）：101-118頁。
- ———、1968、「マルクスにおける「構造」の概念——構造主義批判のために」（赤羽裕・訳）『展望』（112）：82-98頁。
- ———、1968、「[抄訳]歴史における茶番と悲劇」（白井健三郎・訳）河野健二・編『新しい歴史観（現代人の思想13）』平凡社、182-214頁。
- ———、1969、「序説第二版への序文」『日常生活批判1』（奥山秀美、松原雅典・訳）現代思潮社、3-148頁。
- ———、1969、「問題は考えることではないのか？」ミシェル＝アントワヌ・ビュルニエ、フレデリック・ボン・編『新しい知識人』（西川一郎・訳）紀伊国屋書店、282-288頁。
- ———、1970、「マルクスの新たな読み方のための提案」（今村仁司・訳）、アダム・シャフほか『若きマルクスと現代』（河野健二・監訳）合同出版、141-170頁。

- ———、1973、「経済学と社会学における説明の概念に寄せて」（花崎皋平、青山政雄・訳）アルフレート・シュミット・編『現代マルクス主義認識論』河出書房新社、187-214頁。
- ———、1973、「農業社会学への展望」（花崎皋平、青山政雄・訳）アルフレート・シュミット・編『現代マルクス主義認識論』河出書房新社、215-234頁。
- ———、1973、「都市政策の構想」（訳者不詳）『世界の都市政策（岩波講座 現代都市政策 別巻）』岩波書店、205-220頁。
- ———、1974、「[抄訳]〈日常生活批判〉のために」（奥山秀美、田中仁彦・訳）竹内芳郎・編『文化と革命（現代革命の思想7）』筑摩書房、106-118頁。
- ———、1986、「無意識についての社会学的モデル」（富永茂樹・訳），アンリ・エー編『無意識V——無意識の社会学・哲学への影響』金剛出版、11-34頁。
- ———、2001、「一九二五年」（谷昌親・訳）『現代詩手帖』2001年4月号、44（4）：80-90頁。
- ———、2018、「地球の変貌」（平田周・訳）『空間・社会・地理思想』（21）：99-101頁。
- ルフェーヴル、アンリ、アクセロス、コスタスほか、1974、「共同討議〈無〉の否定性」（足立美比古・訳）『現代思想』1974年11月号、2（10）：134-147頁。
- ルフェーヴル、アンリ、加藤晴久、1982、「〈対談〉ニヒリズムを超えて——文明の危機とマルクス主義——」（加藤晴久・訳）『世界』1982年3月号（436）：252-265頁。
- ルフェーヴル、アンリ、桐村泰次、1975、「西欧との対話 スターリン主義の本質と現代」（桐村泰次・訳）『大白蓮華』（295）：52-59頁。
- ルフェーヴル、アンリ、桑原武夫、河野健二、平田清明、多田道太郎、1968、「〈座談会〉現代の技術と文明——東洋と西洋の接点を求めて——」（田村俣・訳）『世界』1968年4月号（269）：253-269頁。
- ルフェーヴル、アンリ、マルチネ、アンドレほか「言語の科学と人間科学」『構造主義とマルクス主義』（宇波彰・訳）福村出版、93-143頁。